２０２５年度日本・山陰国際サポートセンター事業報告
（2025 年 10 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日まで）

２０２５年１０月１日から２０２６年９月３０日までの期間における、一般社団法人日本・山陰国際サポートセンターの事業報告は以下のとおりであった。

〇全国と同様に、依然として本県における特定技能生の受け入れも増加傾向にあるが、来年４月からの法令改正や受け入れ枠上限問題等から外国人材を取り巻く状況は不確実である。
〇指導業務委託契約を締結した会社（アミーゴ島根）が、ミャンマー人材の紹介を始めたことから、ミャンマー語の通訳を確保して対応言語を追加し、社福法人きすき福祉会からの受け入れ要望を受けてミャンマーの介護人材（新規）２名の支援を始めた。
〇同様に大橋館からの要望でフィリピン宿泊人材（新規)、ネパール人材（留学からの移行)、アメリカ人材（技人国からの移行）各１名の支援を始めた。
〇ヒカワ工業からの要望でバングラデシュ建設人材（技能実習２号からの移行）２名の支援を始めた。
〇やつかの郷からの要望でベトナム介護人材（技能実習１号からの移行）１名の支援を始めた。
〇人材受入れセミナーは、県社会貢献基金事業に採択されたが実施は翌年度とする。

１．情報収集・研究

同業者、監理団体や送り出し機関等から情報を収集した。

２．情報発信

説明希望のあった事業所を訪問した。

３．人材確保ルートの調査

神田氏からの紹介で坪内ビジネスカレッジ卒業生の支援ルートができた。

４．委託者獲得のための活動

個別事業所に対する働きかけは実施できなかったが、各社員からの紹介や直接の問い合わせにより説明を行う機会はあった。

５．国際交流事業の企画・実施

実施しなかった。

６．その他

常務理事が松江市多文化共生推進プラン検討委員として委員会に参加した。